

水道水の残留塩素
の低減は可能か

月田 均



町長

実証実験で良好な
結果が出ている

無薬注方式の実証実験

質問 玉村町の水道水は地下水を水源としている。その

浄化のために、次亜塩素酸を注入している。そのため、残留塩素による髪や肌への影響が気になる人もいるし、金魚などの生き物を飼っている人は、水道水をそのまま使うことに不安を感じている人もいる。

答弁 現在、地下水の浄化に次亜塩素酸を使わない、無薬注方式の実証実験を行っているが、その実験はどこまで進んでいるのか。

町長 実証実験は最終段階に入っており、ろ過水は水道法水質基準の全てに

おいて基準に適合している。

質問 この無薬注方式は従来方式と比較し、建設費、維持管理費も削減できると聞く。玉村町と同等規模の水道施設の建設費50億円が、20億円に減少できた事例もある。水道施設の更新時は、この方式を採用するのか。

答弁 上下水道課長 実験結果も良好で、有効な方式と考える。今後、細かく検証していく。

玉村町の自転車事故の
実態と対策は

質問 群馬県の高校生・中学生の自転車事故発生件数が全国ワースト1位とのことだが、玉村町の実態は、どのようなになっているか。また、どのような対策を実施しているか。

町長 令和4年1月から10月までの自転車事故発生件数は、小学生0人、中学生8人、高校生8人であった。その対応としては、小学生には

自転車安全教室、中学生には自転車マナーアップ運動の開催、秋の交通安全運動期間には各学校で交通安全教育を実施している。

玉村町の人口増の要因は

質問 今年5月から10月まで、6か月連続して玉村町の人口が増加しているが、これをどのように捉えているか。また、今後の人口減少への対策は。

町長 その間の人口増は、外国人の増加が主な要因であると考えている。また、人口減少対策としては、総合計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略の個別事業を着実に実行していくことが必要であると考えている。

こんな質問もしています

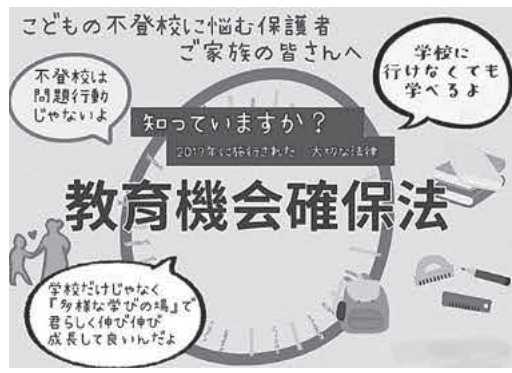
・ピロリ菌検査について
・住宅等リフォーム支援事業を活用した下水道接続工事に係る業者の対応について

学校外に通う
児童生徒の出欠は

堀越 真由子



教育長

ガイドラインに従い
校長が判断

学校に通いにくい児童生徒に「学ぶ場」の確保を

質問 現在の玉村町の不登校児童生徒数は。

答弁 教育長 月に6日以上休んでいる児童は、10月末現在で小学生12人、中学生35人で、増加傾向にある。

質問 ふれあい教室に通っている児童生徒数は。

答弁 教育長 小中学生合わせて7人である。

質問 ふれあい教室に通う小学生は、教室の広さ、支援員の人数不足から、現状では中学生が帰ってからしか通うことができないと聞いている。この件につ

いて、把握しているか。

答弁 学校教育課長 現状は、把握している。保護者や児童から要望があれば、場所や人員、時間等の調整をしていく。

質問 学校以外の居場所であるフリースクールについては、近隣市町村を含めて全国的に出席扱いと認めているが、玉村町の現状はどのようなになっているか。

答弁 教育長 国や町のガイドラインに従い、学校、保護者、フリースクールの事業者間に十分な連携・協力関係が保たれていること等の要件を満たした場合、校長の判断により出席扱いと認められる。

学校でのマスク着用の
現状は

質問 学校でのマスク着用について、息苦しさから鼻を出していると、友達に注意され、それが原因で学校を休んでしまう子供がいると聞いている。

子供へのワクチン接種
の安全性は

質問 0歳から4歳児へのワクチン接種の安全性が懸念されるが、町は十分検討したのか。

町長 ワクチン接種は国の施策であり、専門機関での審査が必要となるため、町としては議論していない。

こんな質問もしています

・学校給食時における黙食について
・自転車走行中の安全確保について